



# 社会的投資として次世代を担う 子ども達を応援してください！

## 寄付でのご支援のお願い

**法人サポーターになる**  
(年間一口5万円～)

エデュケーションエーキューブの支援活動の基礎となる、奨学金制度を支える仕組みです。  
法人サポーター3口で、学校に通えない子ども1人を1年間支援することができます。

**新しい教室のオーナーになる**  
(一教室：300万円)

エデュケーションエーキューブでは、オルタナティブスクールを100拠点展開することを予定しています。300万円で学習拠点を1か所増やすことができます。(1か所あたり約50名の生徒を支援できます。)  
開設場所については、双方協議のうえ決定いたします。

### ～特典～

- 01** WEBサイトにロゴ掲載
  - 02** 年次報告書の送付
  - 03** 事業報告会へのご招待(東京・福岡)
  - 04** 「2030 SDGs」を使った研修(15万円相当)の割引提供
- 「2030 SDGs」は、SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験し、我々一人一人がなにをすべきか考えるゲームです。企業、学校、自治体などでSDGsへの理解を深める目的のほか、新規事業創出や社員のキャリア形成などでの目的で利用されています。

## 寄付以外のご支援のお願い

他にも「企業・団体内で募金活動を行う」「社内での講演会・勉強会の企画をする」「フリースクールの子ども達とともにイベントの企画をする」などの多様な形でのご支援をお待ちしております。



### 誰でも、いつでも、どこでも、教育の機会を

エデュケーションエーキューブはEducation(教育)について3つのAを実現しようという思いから誕生しました。  
eラーニング等IT技術を活用することにより、Anyone(誰でも)、Anytime(いつでも)、Anywhere(どこでも)良質な教育の機会が得られる環境をつくります。



認定NPO法人エデュケーションエーキューブ  
〒819-0043 福岡県福岡市西区野方1-19-33  
Web <http://education-a3.net/>  
Email [info@education-a3.net](mailto:info@education-a3.net)  
f <https://www.facebook.com/Education.A3>



## Anyone can be anything!

～誰もが何にでもなれる社会を目指して～

認定NPO法人エデュケーションエーキューブ



# 年次報告書

## 第7期

2019.7~2020.6

### 目次

- 01 年次報告書 2019.7~ 2020.6 [第7期]
- 02 ご挨拶
- 03 私たちのミッションとロジックモデル
- 05 私たちが取り組む社会課題  
目に見えにくい子どもの貧困
- 06 私たちが取り組む社会課題  
学ぶ権利を奪われている子ども達
- 07 多機能型学習拠点「スタディプレイス」事業
- 09 特別奨学生制度
- 10 私たちが応援している子ども達
- 11 第7期の取り組み
- 12 収支報告
- 13 ご支援のお願い

様々な形でご支援いただいた皆様に  
心より感謝申し上げます。

## ご挨拶

### 誰ひとり取りこぼさない教育を目指して

認定NPO法人エデュケーションエーキューブの活動へのご理解とご支援、誠にありがとうございます。

第7期は、新型コロナウイルスの影響により、当法人にとって創業以来最大の試練でもあり、最大のチャンス的一年でした。緊急事態宣言により学校が休校となった時は、事業継続を不安に感じる場面もありました。一方で、当法人の強みであるICTを活用できるチャンスでもありと考え、オンラインへの対応を進めました。子ども達の高い順応性とスタッフの努力で、休校期間中もスタディプレイスはオンラインで学びや遊びを子ども達に届けることができました。新教室の開校についても、開校時期を4月から10月にずらし、スタディプレイスの旗艦校となる春日原校を開校することができました。

財務面ではコロナ対策融資を活用し、事業継続に必要なキャッシュフローを確保しました。その上で、Withコロナ時代の新しい教育を目指して、一人一台のiPadの体制を整備するなど積極的に投資を実行し、福岡県内では拠点数・生徒数で最大のフリースクールとなりました。私たちは経済的格差がもたらす教育格差を是正するため、誰ひとり取りこぼすことなく、“パブリックなオルタナティブスクール”として事業を展開していきたいと思っています。



代表理事 草場 勇一

### オンラインが広げる可能性

コロナがもたらした環境の変化によって、教育の現場は大きな影響を受けました。一方で、「オンラインでも教育機会を届けられる」事に気付けたのは大きな成果でした。私の息子はこの春に大学一年生になりましたが、一度も学校に通えず、授業はオンラインのみです。とても効率的で、繰り返し授業の視聴ができてこの上なく学習はしやすいと思います。でも、教育とは知識の提供だけではない筈です。特に10代前後の子供たちに対しては、人と人の触れ合いにより成長させるのも教育現場の課題だと思います。教室では子どもたちの喜怒哀楽や主義・主張に対し、スタッフは五感を使って全力でコミュニケーションしています。オンラインは教育格差を逆に縮めるチャンスですが、リアルな教育の場と組み合わせ、ハイブリッドな教育機会の提供が当たり前になってゆくのでしょうか。当法人は今後も時代を先取りして、子どもたちをサポートしてゆきます。



副代表理事 佐村 礼二郎  
エー・アイ・キャピタル株式会社  
代表取締役社長 CIO

## 理事



竹井 雅文  
修学館 元館長



伊藤 尚毅  
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社  
マネージングパートナー



原口 唯  
株式会社YOUI  
代表取締役

## 正会員 (五十音順)

伊藤 雅浩 さま  
シティライツ法律事務所  
弁護士

長田 賢一郎 さま  
NEXTBOOK株式会社  
代表取締役兼社長

増山 秀信 さま  
株式会社チームスピリット  
元取締役 CFO

渡邊 康治 さま  
Hello Tomorrow Japan  
Director

伊藤 尚毅 さま  
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社  
マネージングパートナー

小村 富士夫 さま  
株式会社Jスタイル  
代表取締役

見満 周宜 さま  
Yosemite LLC  
代表

山本 教貴 さま  
山本公認会計士・税理士事務所  
公認会計士/税理士

佐村 礼二郎  
エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 CIO

草場 勇一  
NPO法人エデュケーションエーキューブ 代表理事

# 誰もが何にでもなれる 社会を目指して

## Anyone can be anything!

### 努力すれば誰もが自分の目標や夢を実現できる社会

日本の子ども達の約7人に1人は相対的貧困状態にあり、十分な教育や体験の機会が得られていません。エデュケーションエキューブはICTを教育分野に活用し、eラーニングを活用した学習支援や社会で必要となる新しい学びの機会を通じて、子ども達が自分の夢に向かって積極的にチャレンジできる社会をつくります。

## Logic Model ロジックモデル

ミッションを実現するためのロジックモデル(シナリオ)

### 【活動内容】

#### スタディプレイス事業

経済的に厳しい環境にいる子ども達も利用可能なeラーニングを活用して低料金で学べる多機能型学習拠点

フリースクール

通信制高校（サポート校）

学習塾

アフタースクール

### 【結果】

- ✓ 授業開催日
- ✓ 参加人数
- ✓ 出席率
- ✓ 拠点数
- ✓ 学習時間
- ✓ 学習意欲
- ✓ 提供授業数

### 【初期段階の成果】 (小・中学校)

- ・基礎学力の向上
- ・学習スキル
- ・ITに触れる／活用する
- ・お金に関心を持つ



- ・自分で考え、意見を持つ
- ・自分の思いを表現できる
- ・自分の好きや楽しいを知る

- ・外国人とコミュニケーション経験
- ・多様性を知る(国際性・LGBT等)



- ・自分の居場所がある
- ・好きなこと／取り組んでいることがある

### 【中期段階の成果】 (高校・専門学校・大学)

- ・進学率
- ・キャリア教育
- ・ITを高度に利用する
- ・経済や金融に関心を持つ



- ・常識を疑う発想ができる
- ・0から1を作る
- ・課題を発見し問いを立てる

- ・友達／尊敬できる人／相談できる人がいる
- ・ディスカッション力
- ・渡航 or 留学経験



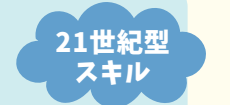
- ・長所を認めている
- ・目標に向けての努力やチャレンジ精神
- ・夢や職業イメージ

### 【後期段階の成果】 (就職後)

- ・相対的貧困の脱却
- ・正規雇用／個人事業
- ・ITリテラシー高
- ・賢い消費者になる



- ・批判的思考
- ・想像力
- ・課題発見力



- ・聞く力・話す力
- ・多様性を理解する力
- ・グローバルシチズンシップ



- ・自己肯定感が高い
- ・謙虚さ／素直さ
- ・やりたいことがある



経済的自立

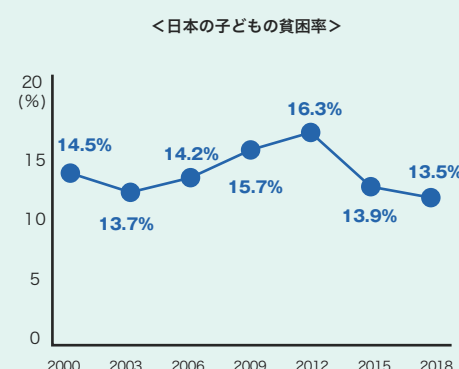
精神的自立

# 目に見えにくい 子どもの貧困

貧困や格差の問題は、途上国の問題という印象が強いかもしれませんが。しかし日本にも、最低限の衣食住は満たせても、教育・体験・人との繋がりなど格差により、将来の可能性を制限されている“しんどい子ども達”が存在しています。

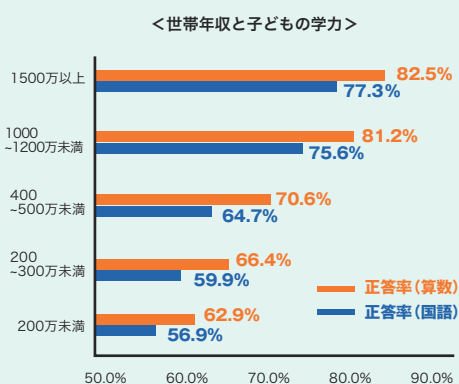
## 01 目に見えない貧困に苦しむ子ども達

日本の子どもの貧困率は今、OECD加盟国の中で最悪の水準にあります。子どもの相対的貧困率（全国民の所得の中央値の半分を下回っている割合）は、1980年代から上昇傾向にあり、今日では13.7%、実に7人に1人の子ども達約280万人が貧困状態にあるとされています。中でもひとり親世帯で、親が就業している場合の相対的貧困率は、日本が54.6%とOECD最下位という状況にあり、見えない貧困が深刻化しています。



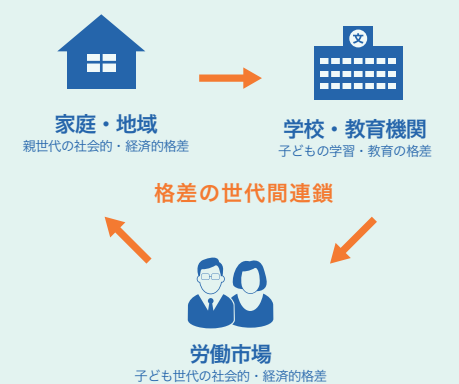
## 02 所得格差による子どもの学力・機会格差

世帯収入は学力と非常に高い相関関係にあります。これは、他の子ども達のように塾に通わせる余裕がないことや、落ち着いて勉強できる家庭環境がないこと、そしてより低年齢のうちに家庭で培われる生活習慣や基礎的な学習力の不足によるものです。子どもの学力格差は進学面での格差につながり、将来の収入格差にも繋がっています。



## 03 世代を超えた貧困の固定化

家庭の経済格差が、子どもの教育格差や体験格差に繋がり、世代間を超えてこのような状況が固定化される貧困の連鎖を生じています。子ども達の格差は幼少期から発生しており、子ども達の自助努力だけでは、これらの差を挽回するには非常に厳しい状況にあります。



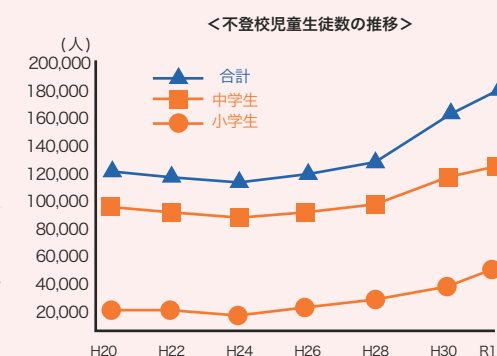
出典：厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」、「生活保護受給世帯出身の大学生等の生活実態の調査・研究」、ユースフル労働統計2017

# 学ぶ権利を奪われている 子ども達

従来型の教育が合わずに学校に通えない子ども達が増加しています。日本には義務教育を受ける場所は学校しかありません。子ども達の学ぶ権利を保障するためには学校以外の多様な選択肢が求められています。

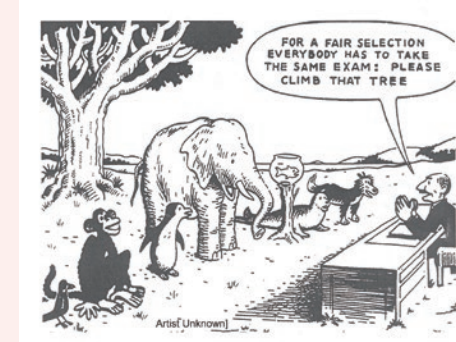
## 01 学校に通えない子ども達が増加

文科省調査では、小・中学校の不登校児童(30日以上欠席)は、18.1万人、不登校児童比率は1.9%。うち、約60%の10万人が90日以上欠席児童です。文科省の調査には、学校には通っているものの授業を受けることができていない子どもたちは含まれておらず、日本財団やNHKが実施した調査では、中学生だけで文科省の3-4倍に当たる45万人の子ども達が義務教育を受けているとは言えない状態にあります。



## 02 日本型教育システムの限界

学校に通えない子ども達が増加している理由としては、従来型の学校教育に適應できない子ども達が増えていることに起因しています。現在の「同一性の高い学級の中で、みんなで同じことを、同じペースで、同じやり方で、教科ごとの出来合いの答えを子ども達に一齐に勉強させる」教育方式は明治以降150年間変わっていません。個人の多様性を重視する変化の激しい時代において、図のように魚に木登りの試験をするようなことが起きていないでしょうか？



公平を期するために、全員に同じ試験を課すことにする。試験：「そこにある木に登らない」

## 03 誰ひとり取り残さない教育

2030年までの国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）では、世界から貧困をなくす為に、目標1（貧困をなくそう）と目標4（質の高い教育をみんなに）が掲げられています。日本のSDGsの2020年度の達成評価では、目標4は順調に推移していると評価されています。これは途上国と比較した場合の識字率の高さや表面上の義務教育の就学率（99.7%）の高さによるものですが、現実には上述したように日本においても義務教育を受けているとは言えない子ども達が存在しています。SDGsの精神である「誰ひとり取り残さない」教育を実現していく必要があります。



出典：02の図：ludic learning <http://www.ludiclearning.org/>、令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査





## 事業内容

# 多機能型学習拠点 「スタディプレイス事業」

経済格差に起因する教育や体験機会の格差是正を目的に、経済的に厳しい環境にいる子ども達も利用可能な、eラーニングを活用して低料金で学べる多機能学習拠点「スタディプレイス」を展開しています。小学生から高校生を対象に、アフタースクール・学習塾・フリースクール・通信制高校までをサポートすることで、幅広い年齢の子ども達が社会で自立していくために必要な多様な学びの機会を提供しています。

### 学習塾

子ども達がeラーニングによる学習で、自分の学力に合わせて、主体的に自分のペースで学ぶ学習塾です。英・数は、塾のオリジナルテキスト+解説動画で基本から分かりやすく解説し、総合的な知識を身につけることができます。

### フリースクール

「学校は苦手だけど学習はがんばりたい」と思う学校に通えない子ども達を応援しています。学校の学習に加えて、ディスカッション、IT教育、マネー教育、キャリア教育などを行い、社会に出てからも役立つ学びの機会を提供します。

### 通信制高校

沖縄にある通信制高校「八洲学園大学国際高等学校」の高校卒業資格を取得することができます。小中学校の振り返り学習や社会に必要な新しい学び、体験学習を取り入れています。入学金ゼロで初期費用の負担なく、入学が可能です。

スタディプレイスは、eラーニングを活用していますが、子ども達の学習に関する質問への対応や学習以外のことをサポートするために、フリースクールには教員資格を持つスタッフが常駐しています。また、大学生スタッフや学生インターン生が、活動を支えています。

### スタッフ紹介



#### 河本 千晴

大学時代にボランティア団体に所属し、小学生向けの教育キャンプの運営やカンボジアでの支援を経験。好きなものはアニメ・漫画・子どもと自然の中で遊ぶこと。小学校教諭一種免許、特別支援学校教諭一種免許



#### 藤田 幸子

大学時代に学生ボランティアとして、学校に行かない・行けない子どもたちと出会い、その世界に引き込まれる。那珂川町適応指導教室、春日市・太宰府市教育支援センターで13年の経験。信念は、「子どもたちを信じること」「夢と一緒に探ること」



#### 佐藤 和己

大学時代には、塾講師、不登校児童生徒への学習支援・余暇活動支援、福岡県田川郡添田町学習支援事業「英峰塾」の学生代表を経験。好きなことは古着・ゲーム・バイクや車ででかけること。社会福祉士。

### 【学生スタッフ】

橘 沙和  
諸岡 陸  
若松 陽菜  
関 友梨亜  
永田 もも

当事業は「大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金」  
「NTTドコモ市民活動団体助成事業」の支援を受け実施しています。



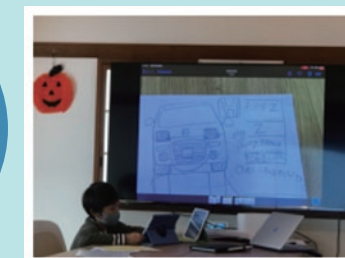
## スタディプレイスの様子

### ICTを活用した 個別学習



子ども達にはひとり一台のiPadを準備し、自分の目標や学力レベルに合わせて自分のペースで学ぶ個別最適化された学習環境を提供しています。eラーニングでの学習によって生徒たちが自ら計画を立て、自ら学ぶ力を養い、基礎学力を身につけています。

### 興味関心を 深める学び



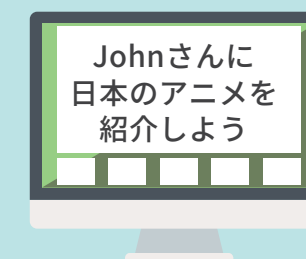
教科学習だけでなく、子どもたちの興味関心を深めて課題解決の力をつけるための探究学習を行なっています。子ども達の好きや興味から、調べたいテーマや疑問に思う問いを立てて、自分の力で調べ、最後は発表するまでの過程を行っています。

### キャリアの学び



子どもたちが将来のキャリアイメージを持つため、仕事について調べたり、社会で活躍している大人の話聞きます。コロナ期間中はオンラインの強みを活かして、海外で活躍するビジネスパーソンや芸能界で活躍するアイドルの話などを聞きました。

### グローバル シチズンシップ 教育



次世代を担う子ども達の将来の可能性を拓くため、日本だけでなく海外について興味・関心を持てるような機会を提供しています。海外の国々と実際に繋いだり、Google Earthで調べたりしました。また、英語に親しめるようにゲームを通じた学びにも取り組みました。

### クリエイティビティ



AI時代に必要となる0から1を生み出す能力を育むため、レゴを使った創作活動、プログラミングでの作品制作、STEM教育カリキュラムの実施、音楽体験など、創造的な活動に取り組みました。

### 体験活動



子ども達に教科学習だけでなく、様々な体験の機会を提供するため、月に1回程度のペースで大学、博物館・美術館、キャンプなど教室外の活動にも積極的に取り組みました。7期は1泊2日のキャンプに子ども達と参加しました。



# 私達が 応援している 子ども達

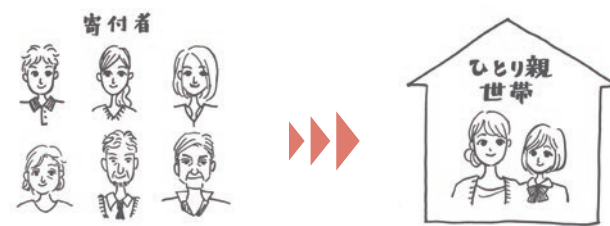


## 特別奨学制度

**スタディプレイスでは、経済的に厳しいひとり親世帯や生活保護世帯の子ども達を対象に授業料の50～70%を免除する奨学制度を設けています。**

日本において、ひとり親世帯（母子家庭）の平均世帯年収はわずか197万円に留まっています。さらに、母子家庭の71%が収入200万円未満と、子どものいる世帯の平均に比べ、経済的に非常に厳しい状況に置かれています。ひとり親世帯（母子家庭）の80.6%が働いているにもかかわらず、ひとり親の相対的貧困率が高く、日本はOECD35ヶ国の中で、ひとり親世帯の子どもの貧困率はワースト1位となっています。

スタディプレイスの特別奨学制度は、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯や生活保護世帯、また特別な事情で経済的困難を抱えている世帯を対象に、授業料の50～70%を免除しています。



## ひとり親奨学制度利用者の声

発達障害、不登校児を育てるのは、強いこだわりがあるため、ずっと家にいる事で私自身が思うように仕事が出来ないので、見えないお金がかかります。娘にとって安心して学ぶ場所が今までなかったので、学ぶ事が出来、オンライン上ですが娘の居場所が1つ増えて、家族は心から安心する事が出来ました。お世話になっている方々に直接恩返し出来ずにはありますが、お門違いですが、私が仕事をする上で社会に少しでも恩返しが出来ればという気持ちで毎日仕事をさせていただいています。



経済的にも精神的にも大変助かっております。ありがとうございます。



不登校中の我が家にとって、個別塾や家庭教師をお願いするには家計が苦しいので本当にありがたいです。

母子家庭なのでフリースクールに通わせるのは経済的に難しいと思っていましたが、スタディプレイス様に通わせることが出来て、とても感謝しております。

奨学制度を利用させて頂き、とても助かっております。主人が亡くなり、子供の事を相談する相手がなく、不安な事も沢山ありましたが、スタディプレイスに通わせて頂き先生方に良くしてもらい感謝しております。



## WEBデザイナーを目指すBさん

Bさんは、帰国子女の生徒で日本の高校が合わずに1年で中退し、スタディプレイスに編入してきました。スタディプレイスでは、高校卒業資格取得に加え、自分の将来について考えました。高校3年生になり、自分の将来を決断するのに苦労していましたが、自分のやりたいことや興味を整理し、WEBデザインの分野に進みたいと決断し、無事、日本の高校卒業資格を取得した後に、WEBデザイナーを目指して専門学校に進学しました。



## ラグーマンになったCくん

C君は体調不良と学校でのトラブルにより5年生の夏から学校に通うことができなくなりました。学校との信頼関係も崩れていてC君も保護者も居場所を探してスタディプレイスに来ました。体調不良で学校を休んだことで算数の授業がわからないことも影響していました。スタディプレイスでは、ICTでの個別学習で苦手な算数にも自分のわからないところから自分のペースで取り組みました。フリーマーケットや特別授業にも積極的に参加し、精神的にも体力的にも自信を取り戻し、新たにラグビーを始めるまでに回復しました。12月には自分で決めて小学校へ復帰しました。





# 第7期のトピック

## 01 オンラインへの取り組み

スタディプレイスでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため学校が休校し子ども達にも外出自粛が求められていた中、ビデオ会議システムを用いたオンライン学習に切り替えました。生徒と講師スタッフは全員在宅のまま、『学びも遊びも止めない』をスローガンに、パソコンやスマホを用いてインターネット経由で双方向の学びや体験の場を提供しました。端末を持っていない生徒にはタブレット端末の貸し出しも行いました。カリキュラムは、午前はタブレットでホワイトボードやプリントを示して学習を行い、午後は米国在住日本人や芸能界で活躍するアイドルなど多彩なゲスト講師を招き、学びや体験の場を提供しました。



## 02 スタディプレイス春日原校の開校準備

コロナウィルスの影響を考慮しつつ、増加する学校に通えない子ども達の為の拠点を作るべく、スタディプレイス4号教室の開校準備を進めました。最終的には福岡県南部の大野城市にある築48年6LDKの古民家に決定、リノベーションを実施し、最先端の学びの環境を作るべく準備を実施しました。春日原校では生徒一人ひとりにiPadを用意し、個別最適化された学習やプログラミング・STEM教育など社会で必要となる最先端の学びの環境を備え、これからの時代に合った新しい学びの選択肢『オルタナティブスクール』を目指します。



## 03 ひとりじゃないよプロジェクトの参加

コロナ危機は、不安定な雇用で働く人々を直撃しています。中でも打撃を受けているのは、120万世帯を超える母子世帯です。このプロジェクトはエッセイストの小島慶子さんらの呼び掛けで、今すぐに必要な生活支援、学習支援、安全な居場所の確保などの活動を行なっている団体を集め、情報提供を行うプロジェクトです。この活動の中で私たちへの支援も呼びかけて頂きました。私たちも活動団体として掲載頂き、呼びかけ人の小島さんに活動についてインタビューして頂きました。

インタビューの内容はこちらからご覧頂けます。



# 収支報告

### 活動計算書 (2019年7月1日~2020年6月30日)

科目		金額 (円)	
経常収益	受取会費	正会員受取会費 100,000	
	受取寄付金	受取寄付金 3,198,385	
	受取助成金等	受取助成金・補助金 5,432,330	
	事業収益	スタディプレイス事業収益	8,469,500
		子どもの学びと居場所事業収益	
	講演報酬	87,940	
その他収益	受取利息/雑収益	2,188,530	
経常収益 計		19,476,685	
経常費用	事業費	人件費	11,713,442
		教材費	300,484
		賃料	2,303,400
		消耗品費	324,902
		その他事業費	3,699,791
	管理費	人件費	605,769
		支払手数料	295,804
計		14,106	
経常費用		19,257,698	
当期経常増減額		218,987	
税引前当期正味財産増減額		218,987	
法人税、住民税及び事業税		121,006	
当期繰越正味財産増減額		97,981	
前期繰越正味財産額		4,406,208	
次期繰越正味財産額		4,504,189	

#### 【解説①】

収入は前年比93%の19,476千円となりました。内訳は、事業収入は、昨年終了した福岡市の委託事業の減収分をスタディプレイス事業で補いましたが、コロナウィルスによる授業料収入の落ち込みにより事業収入が8,559千円（前期比85%）となり、全体の44%を占めています。助成金・補助金は、大和証券グループやNTTドコモから助成金が継続したものの、5,432千円（前期比77%）となりました。事業収入と助成金の減収分をその他収入（コロナ関連給付金）で補うことができました。

#### 【解説②】

費用は前年比98%の19,257千円となりました。新拠点スタッフの先行投資により人件費が11,713千円（前期比118%増）となり、全体の61%を占めています。また、スタディプレイス箱崎校の開校に伴い、賃料が増加し2,303千円（前期比126%増）となり、全体の12%を占めています。

#### 【解説③】

貸借対照表については、資金繰りの安定のため、コロナウィルス対策関連融資の実行により長期負債が15,000千円増加し、現預金が19,072千円となりました。

### 貸借対照表 (2020年6月30日現在)

資産の部		負債・正味財産の部			
科目	金額 (円)	科目	金額 (円)		
流動資産	現金・預金	19,072,687	流動負債	未払金	975,521
	売上債権	479,883		前受金	1,765,170
	その他流動資産	566,247		預り金	194,452
	流動資産 合計	20,118,817		未払い法人税等	121,000
				流動負債 合計	3,056,143
固定資産	(有形固定資産)		固定負債	長期借入金	15,000,000
	建物付属設備	1,392,534		固定負債 合計	15,000,000
	什器 備品	238,981		負債の部 合計	18,056,143
	敷金	810,000	<b>正味財産の部</b>		
	固定資産 合計	2,441,515	正味財産	前期繰越正味財産額	4,406,208
			当期正味財産増減額	97,981	
			正味財産 計	4,504,189	
			正味財産の部 合計	4,504,189	
資産の部 合計		22,560,332	負債・正味財産の部 合計		22,560,332

活動計算書及び貸借対照表が、エデュケーションエーキューブの2020年6月30日をもって終了する事業年度について業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認めます。



監事 伊藤 雅浩

シティライツ法律事務所  
弁護士



監事 山本 教貴

山本公認会計士・税理士事務所  
公認会計士 / 税理士

# ご支援の お願い



**認定NPO法人  
エデュケーションエーキューブへの  
寄付は、税制優遇の対象になります。**

## 個人の 皆様へ

## 社会的投資として次世代を担う 子ども達を応援してください！

エデュケーションエーキューブは認定NPO法人として、2016年8月に認定を頂きました。認定NPO法人は、個人寄付に対して最大約50%が戻ってくる税制優遇が適用されます。認定NPO法人として活動を継続していくためには毎年「3,000円以上の寄付者が100人以上」という条件をクリアする必要があり、組織の事業基盤を固め、多くの子どもたちの支援を可能にするためにも寄付でのご支援をお願いします。

### 定額寄付で継続的に活動を支援する

定額寄付は、毎年3,000円からの“アニュアルサポーター”と毎月500円からの“マンスリーサポーター”が選べます。寄付金額は、アニュアルは毎年3,000/5,000/10,000/30,000円から、マンスリーは毎月500/1,000/2,000/3,000円から選ぶことができます。決済方法は、クレジットカード決済（VISA/MASTER）もしくは銀行振込からお選びいただけます。

### 任意の金額をお好きなタイミングの寄付で支援する

金額と寄付のタイミングを任意にお選びいただくこともできます。寄付の方法は、クレジットカード(VISA/MASTER)での決済もしくは銀行振込からお選びいただけます

### ご寄付の方法

#### 1. クレジットカードでの決済

下記URLよりお手続きください。  
VISA/MASTERカードでご決済頂けます。  
<http://education-a3.net/support/kifu.html>

継続のご寄付

任意のご寄付

#### 2. 銀行振込

金融機関：福岡銀行 今宿（いまじゅく）支店（264）  
講座情報：普通口座 451973  
口座名義：NPO法人エデュケーションエーキューブ

継続のご寄付

任意のご寄付

## 【寄付以外のご支援①】電気の切り替えでの支援 ハチドリ電力



電気を使えば使うほど、自然エネルギーが増えていく  
「ハチドリ電力」が環境に優しいしくみ

### 特徴1 CO2ゼロの 地球に優しい電気



地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない自然エネルギーを届けます。  
※「CO2ゼロ」とはCO2排出係数ゼロのことを指します

### 特徴2 電気料金の1%が エデュケーション エーキューブの支援に



電気料金の1%がエデュケーションエーキューブの活動を支援します。

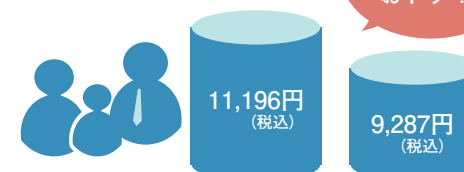
### 特徴3 さらにもう1%が 自然エネルギー基金に



使えば使うほど、風力や太陽光などの自然エネルギーの発電所が増えていくしくみです。

電気代もお得！

【例：3人家族の場合】



切り替えは簡単！

初期費用  
**0円**

工事・立会  
**不要**

印鑑・記入  
**不要**

お申し込みはこちら



## 【寄付以外のご支援②】古本での支援 つなぐ書店

エデュケーションエーキューブでは、つなぐ書店さんとタイアップし、古本で活動を支援することができますようになります。つなぐ書店さんは福岡県南部の久留米市で発達障害の方々の就労支援を行なっている古本屋さんです。ご自宅に眠っている本、DVD、CDがございましたら、着払いにて本、DVD、CDをつなぐ書店さんへ送って頂くと、買取価格がエデュケーションエーキューブの寄付となります。

- ①箱に本をつめます（10冊以上から着払いで受け付けております）
- ②送料伝票の品名欄に「寄付先（エデュケーションエーキューブ）」と記入します
- ③電話で集荷依頼をし、着払いで荷物を送ります（3箱以上の場合ヤマト運輸の【ヤマト便】での依頼をお願いしております）

### 【古本を寄付】



寄付して貢献

### 【古本の集荷・仕分け・査定】



つなぐ書店については  
こちら

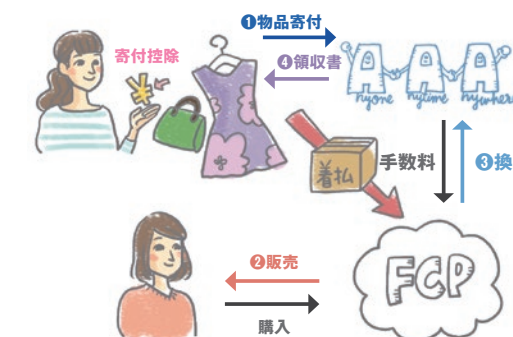


### 【団体活動のための費用へ】



## 【寄付以外のご支援③】ファッションアイテムでの支援 FASHION CHARITY PROJECT (FCP)

FCPは、ファッションアイテムの寄付とお買い物で社会貢献できる通販サイトです。不要になったファッションアイテムをFCPへ着払いで送付いただくと、販売代金がエデュケーションエーキューブへ寄付されます。販売代金に応じて寄付控除が受けられ、ご自身で確定申告を行っていただくことで、寄付金の最大50%（所得税40%・住民税10%）分の税金の還付金を受け取ることができます。ご自宅で不要になったファッションアイテムがあれば、ぜひFCPを通じて販売いただき、エデュケーションエーキューブの活動をご支援ください。



寄付して貢献

買って貢献

FCPについては  
こちら

